

前田道路の事業概要のご案内



前田道路株式会社
営業本部

目次

	会社概要	01
取扱い工事事例	公共工事	06
	民間工事	
	外構工事品目	08
	大規模工事	09
	スポーツ施設工事	10
	景観舗装工事	11
	集客施設工事	12
	メンテナンス工事	13
まえたTEQ ・まえたパーク	14	
	環境への取組み	15
	新技術製品	16

インフロニア・ホールディングス株式会社

INFRONEER Holdings Inc.



インフロニアグループの一員です

01

会社概要

公共工事

品外構工事

大規模工事

施設

景観舗装

集約施設

メンテナンス

またたEco

環境への

新技術製品

前田道路

01

インフラの可能性を広げる「総合インフラサービス」企業へ

グループ会社体制

建築

土木

舗装

機械

インフラ運営
(官民連携事業)

インフラ運営
(再生可能エネルギー)

アスファルト
合材製造・販売

保守・
メンテナンス

施設管理、
リニューアル

製造
(コンクリート二次製品)

DX

サービス

商社

海外

少子高齢化などを背景に、自治体の財源不足・担い手不足が進む中、インフラの老朽化が深刻化し、私たちの安心安全な暮らしは揺らいでいます。私たちインフロニアグループはこの社会課題解決に向け、従来の「つくる」「たてる」だけでなく、インフラの事業企画から維持・管理・運営までを一気通貫で取り組んでいます。

建築事業・土木事業・舗装事業・建設機械からインフラ運営（官民連携・再生可能エネルギー事業）を担う事業会社がある強みを生かし一体となって、「総合インフラサービス企業」としてインフラの価値向上に向けた事業を展開しています。

これまで培った
エンジニアリング力



インフラ運営の
実績・ノウハウ



LCC*の最小化と
適切なリスク評価に基づく
ファイナンス力



各社の
地域ネットワーク

*LCC：ライフサイクルコスト

事業領域を拡大し、上下流をワンストップでマネジメント

上流

企画提案

計画設計

製造調達

施工

リニューアル

大規模改修

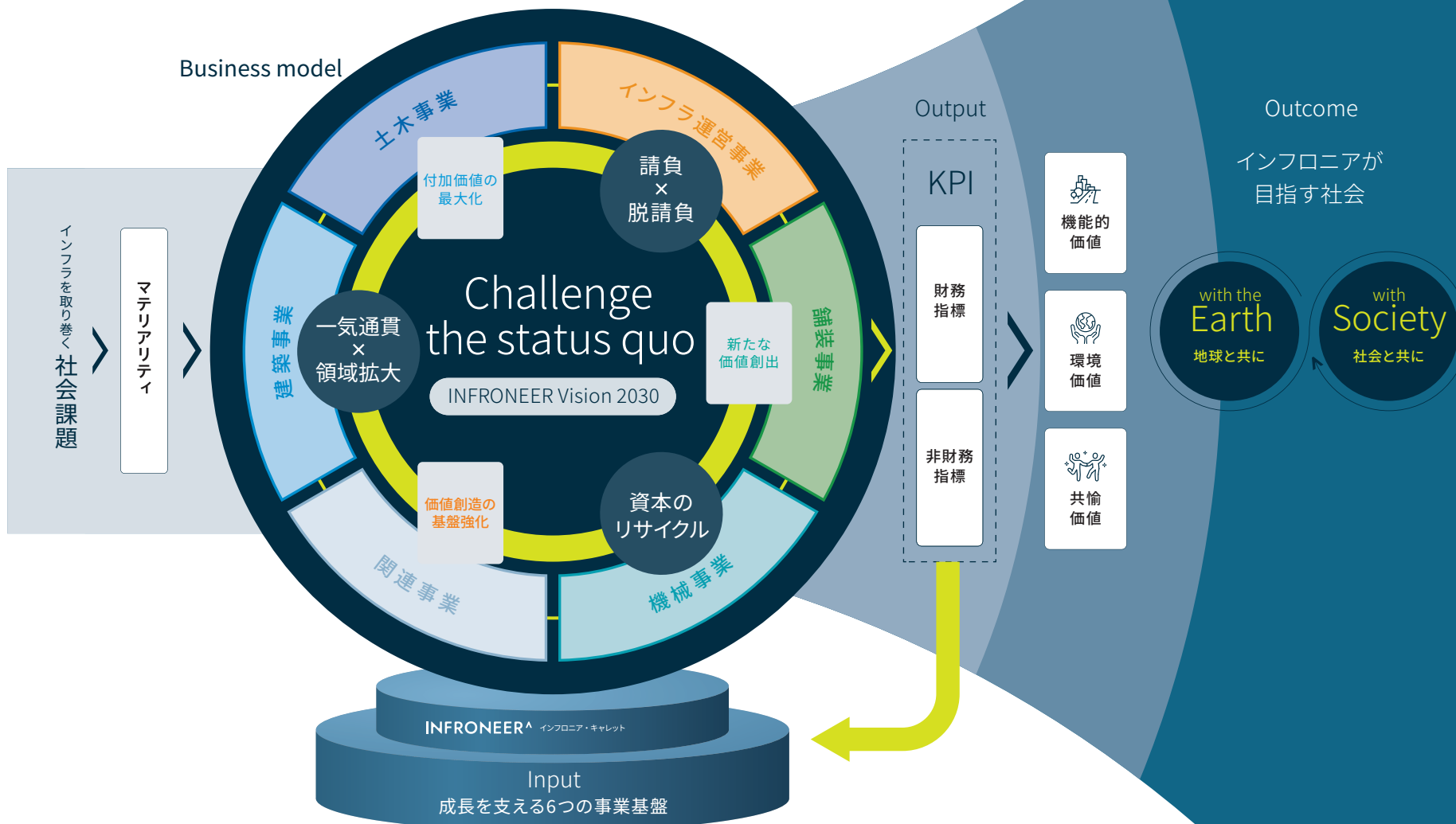
運営・
維持管理

再投資

下流

INFRONEER Holdings Inc.

価値創造プロセス





前田道路株式会社

商号

前田道路株式会社（マエダドウロ カブシキガイシャ）

代表者

富安 敏明

所在地

東京都品川区大崎 1 丁目 11 番 3 号

創業

大正 14 年 3 月

資本金

19,350 百万円（令和 7 年 3 月 31 日現在）

株式

共同持株会社（インフロニア・ホールディングス株式会社）

社員数

2,454 人（2025 年 3 月 31 日現在）

営業種目

土木建築工事の請負、設計ならびに監督、土木建築工事の諸材料の製作販売等前項に付帯関連する一切の事業

建設業者許可

国土交通大臣許可（特-4）第 2313 号

許可の種類

土工事業、建築工事業、とび・土工事業、石工事業、タイル・れんが・ブロック工事業、鋼構造物工事業、舗装工事業、塗装工事業、造園工事業、水道施設工事業、解体工事業

主な事業内容

- ・舗装工事、スポーツ施設関連工事、景観工事等の請負・設計・監理
- ・アスファルト合材およびその関連製品の製造販売

売上構成（FY25 実績、2025（R7）年度）※連結業績

建設事業売上高	1,896 億円
製造・販売事業売上高	825 億円
その他	13 億円
総売上高	2,734 億円

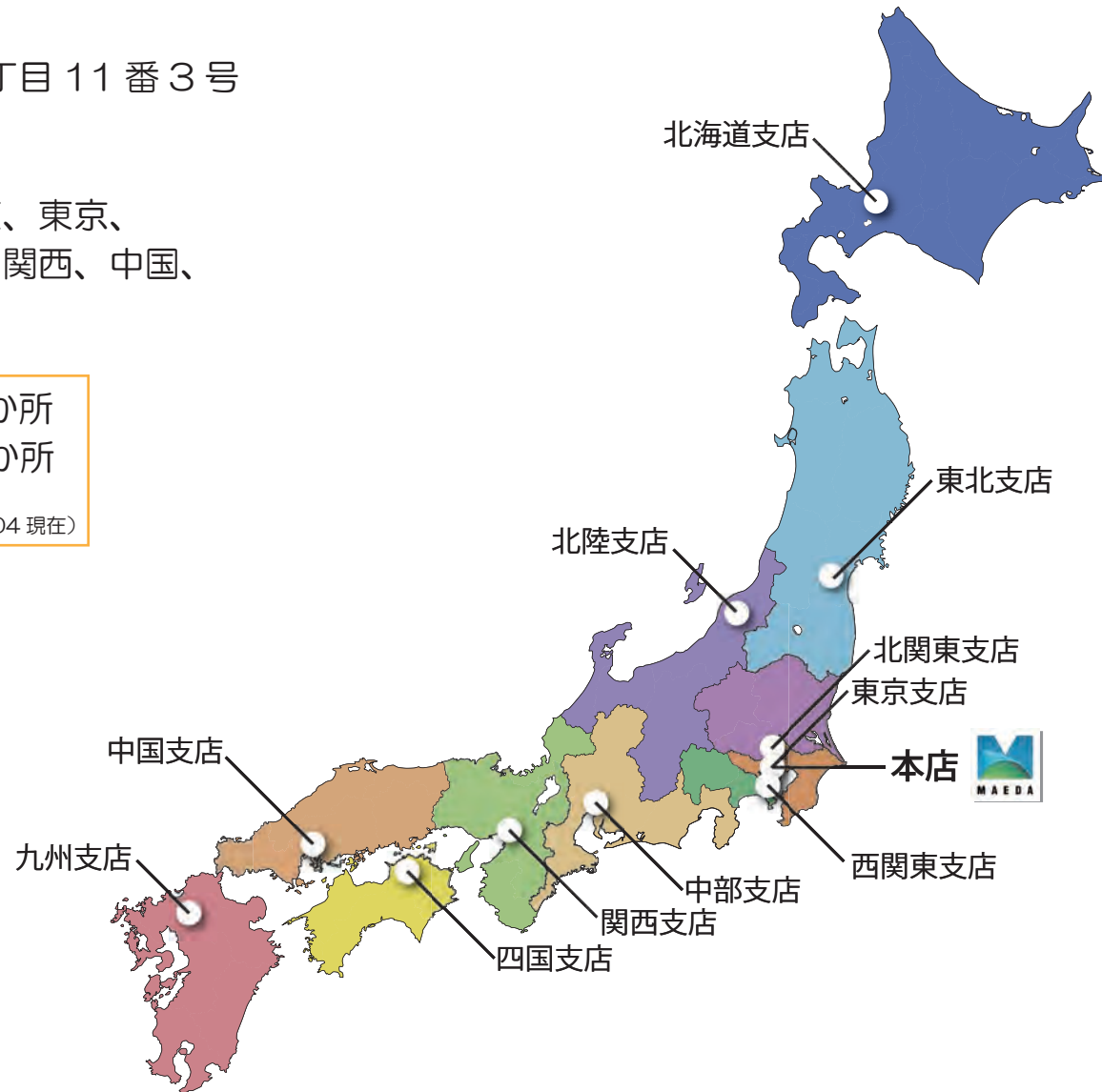
本店

東京都品川区大崎 1 丁目 11 番 3 号

支店


北海道、東北、北関東、東京、
西関東、北陸、中部、関西、中国、
四国、九州 11 支店

営業所数：100 か所
合材工場数：101 か所
(合材工場、出荷サテライト数)
(2026.04 現在)




取扱い工事事例


	公共工事	高速道路舗装・空港舗装・景観舗装・スポーツ施設・ICT施工
民間 工 事	外構工物品目	取扱い工物品目の紹介
	大規模工事	中継場、コンテナヤード、物流センター
	スポーツ施設工事	野球場・テニスコート・バスケットコート
	景観舗装工事	寺社仏閣・商業施設
	集客施設工事	ドライビングコース、ショッピングセンター
	メンテナンス工事	調査車両による舗装調査
	まえた TEQ ・まえたパーク	ショーガーデン「まえたTEQ」の紹介

 高速道路舗装




 景観舗装



 空港舗装



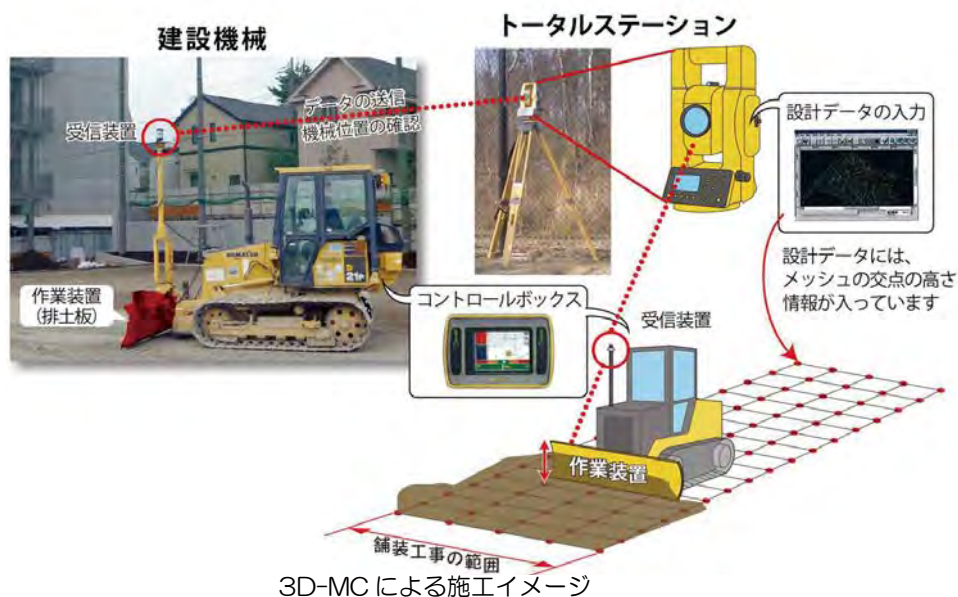
 スポーツ施設



ICT施工

■3D-MC（マシンコントロール技術）による施工

情報化施工（3D-MC）の導入で丁張は不要となります。
設計データによる作業装置の自動制御が可能な情報化施工によって、平坦性の精度確保、より正確な施工管理、作業の効率化を実現しています。



3D-MC アスファルトフィニッシャーによる施工

アスファルトフィニッシャーやスリップフォームペイバ（コンクリート舗装）などの表層の仕上げ施工でも使用しています。

■転圧管理システムによる管理

情報化施工（GNSS）の導入でリアルタイムに締固め程度を定量的に判定するシステムであり、温度測定技術と組み合わせてアスファルト舗装工の品質確保、作業の効率化を実現しています。



転圧管理システムを使った施工



オペレータ画面

オペレータは画面を見ながら転圧回数と温度を確認できるため、品質向上と作業標準の順守が可能です。

■出来形管理システムによる管理



建機搭載型出来形管理システムイメージ

施工管理への活用により、高精度・効率的な施工管理を行っています。
TSやGNSS等による測量機器の位置情報と3次元設計データとの差を表示してリアルタイムに出来形管理できます。
前田道路では、三次元計測機器を建設機械に搭載して面で収集した情報をリアルタイムに情報共有化できるシステムを共同開発*しています。

*: 共同開発者
法政大学、三菱電機エンジニアリング

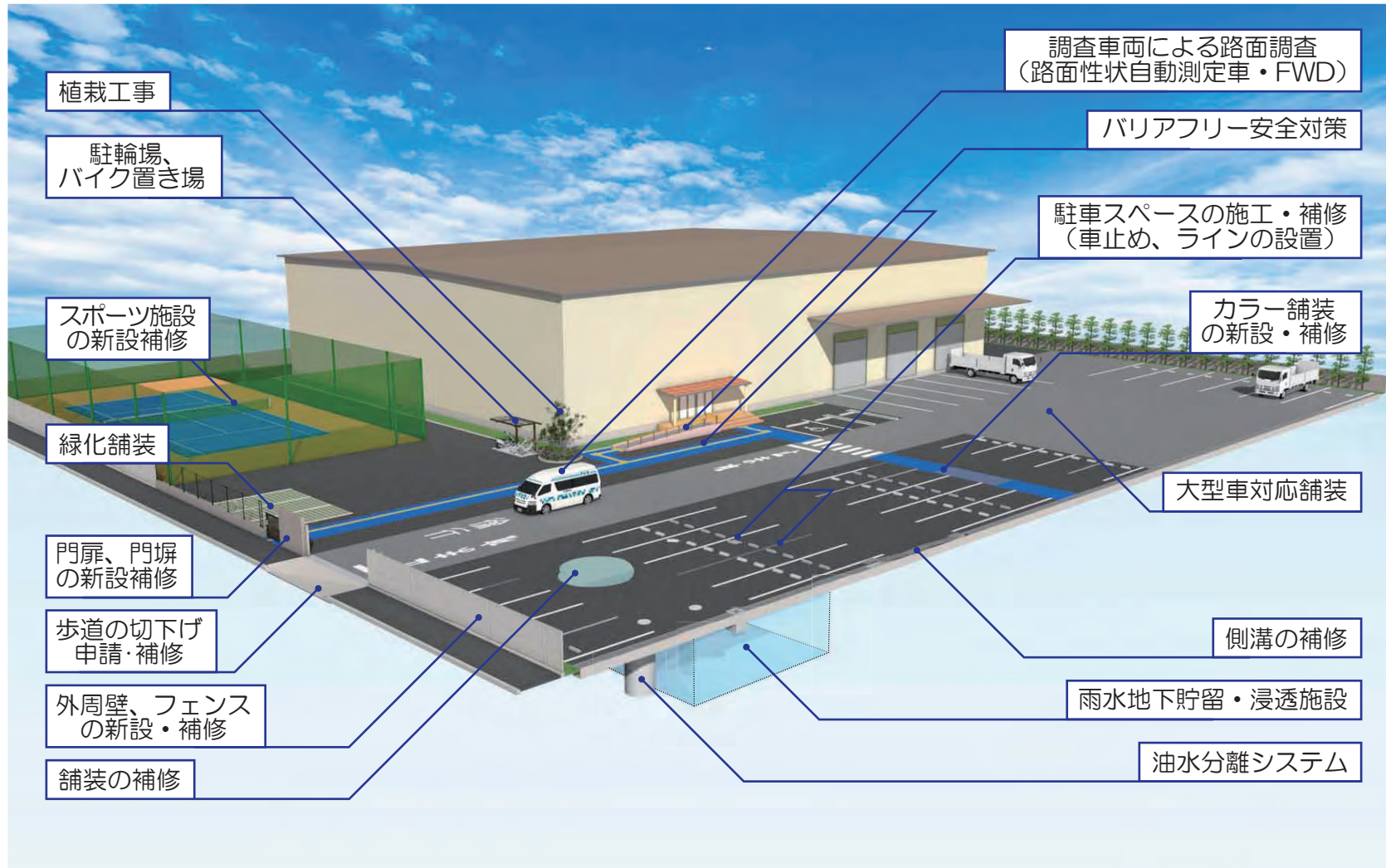
外構工事品目

駐車場工事
排水・側溝工事
花壇・植栽工事
上・下水道工事

フェンス工事
ブロック積工事
門扉工事
縁石工事

平板工事
道路工事
インターロッキング工事
車乗り入れ工事

カラー舗装工事
スポーツ施設工事
その他付帯工事
舗装に関する調査等



中継場



物流センター



トレーラー待機、コンテナヤード



09

会社概要

公共工事

品外構
目工事

大規模工事

施スポ
ー設

景観舗装

集密施設

メンテナンス

またた
いた
パーク

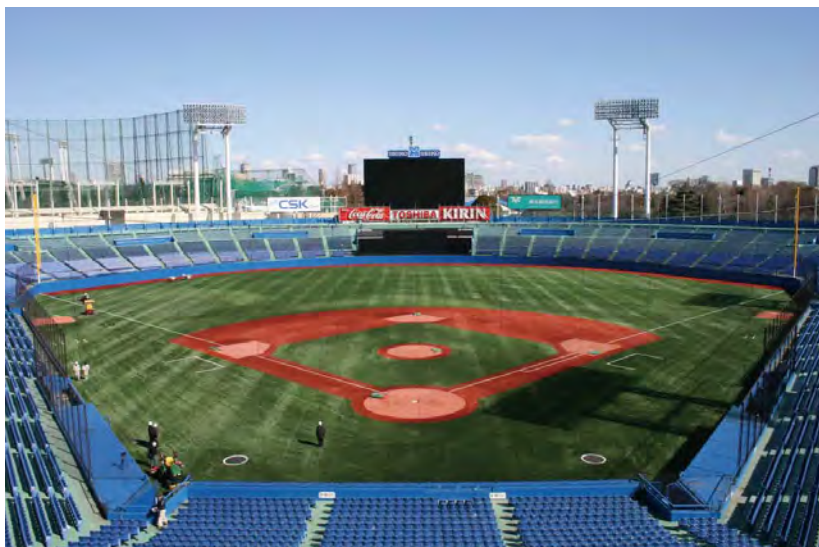
環境への
取り組み

新技術製品

前田道路
ネットワーク

09

野球場



バスケットコート



テニスコート



10

会社概要

公共工事

外構工事

大規模工事

スポーツ施設

景観舗装

集客施設

メンテナンス

またたE&O
またたパーク

環境への
取り組み

新技術製品

前田道路
ネットワーク

10

寺社仏閣



商業施設



🏠 ドライビングコース

全景



路面



🏠 ショッピングセンター



12

会社概要

公共工事

外構工事
品目

大規模工事

施設
スポーツ

景観舗装

集客施設

メンテナンス


またたE.O.
またたパーク

環境への
取り組み

新技術製品

前田道路
ネットワーク

12

 調査車両（非破壊で路面・舗装を調査いたします）

・路面性状自動測定車による工場内道路等の現状を機械測定します。

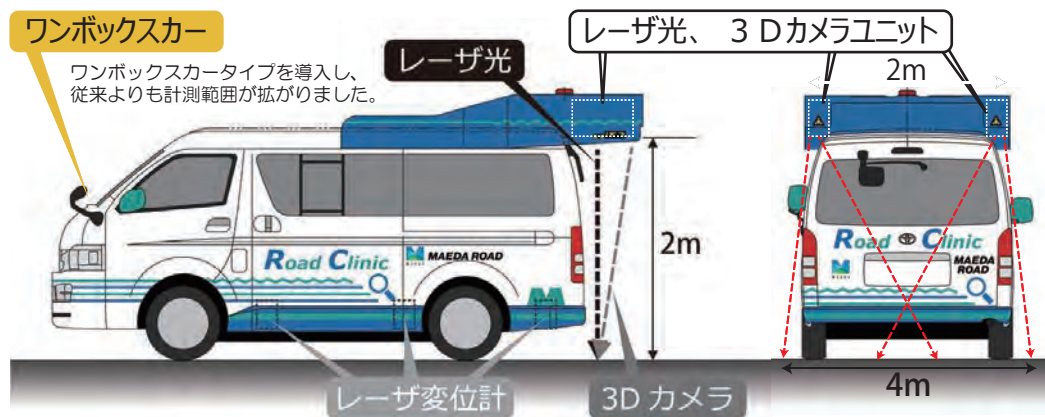
路面性状3要素（ひび割れ率、わだち掘れ率、平坦性）を高速で同時計測します。

構造と機能

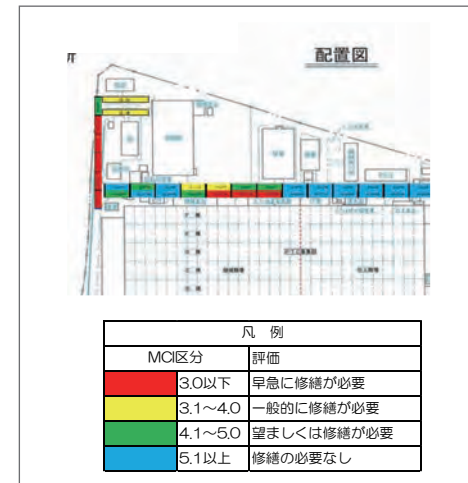
- ひび割れ計測：【レーザー光と3Dカメラを使用した光切断法】
- わだち掘れ計測：【レーザー光と3Dカメラを使用した光切断法】
- 平坦性測定：【レーザー変位計による3測点法】

ワンボックスカー

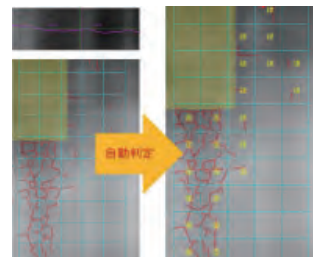
ワンボックスカータイプを導入し、従来よりも計測範囲が広がりました。



▲計測風景



▲路面性状測定評価

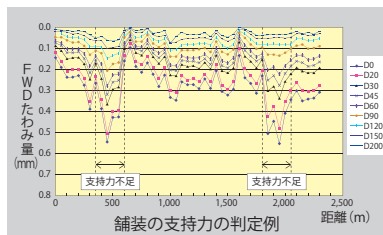


▲ひび割れ自動判定システム

・FWDによる舗装の構造評価をします。

路面性状調査から補修候補区間に挙げられた箇所について舗装断面調査を実施します。

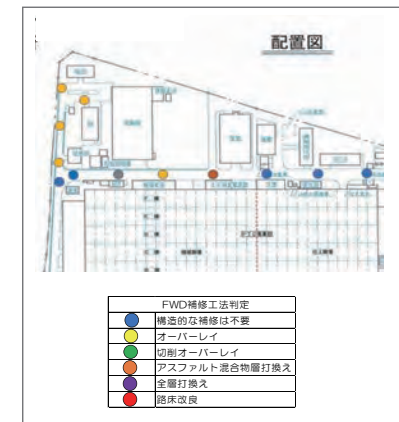
- ★ 残存強度（アスコン層、路盤）の推定
- ★ 路床 CBR の推定
- ★ 舗装の構造評価に基づいた最適補修工法の選定



▲解析データ



▲計測風景



▲FWD評価判定

➡ FWDを用いた舗装調査によって補修箇所、工法等をご提案致しますので、補修費用を低減することが可能です。

まえだTEQ・まえだパーク

見学随時募集中

川崎営業所内に「まえだTEQ」を建設しました。

本施設は、地域貢献・環境貢献をコンセプトに既存の建物及び外構をリノベーションしており敷地の一部を「まえだパーク」として一般公開し、近隣住民の方のための憩いの場や緊急避難場所として整備しました。また、「グリーンインフラ」の取り組みとして、「ヒートアイランド現象」の抑制や、「集中豪雨」・「干害」の環境対策工法を配置しており特に雨水の有効利用について様々な技術を体感できる施設となっています。

「まえだTEQ」内には、16種類の特殊景観舗装を配しており、舗装のショーガーデンとして整備しています。



景観舗装のショーガーデン



- ①御影石風ベアコート（半たわみ性舗装）
- ②御影石風ベアコートW（半たわみ性舗装・保水性）
- ③ヒートオフパイプ（遮熱性舗装）
- ④型押しアスファルト舗装
- ⑤エクセルクリート（コンクリート用スタンプ工法）
- ⑥セラフォーム（KC工法）
- ⑦スマッシュコート（無機質シリカ計舗装）
- ⑧フィットコート（アクリル系樹脂舗装）
- ⑨ペブルコートD（自然色脱色アスファルト舗装）
- ⑩ソフトコート（ゴムチップウレタン舗装）
- ⑪ロングパイル人工芝舗装
- ⑫天然石舗装
- ⑬インターロッキングブロック舗装
- ⑭コンクリート平板（保水）舗装
- ⑮グラスパーキング舗装
- ⑯景観用人工芝

14

会社概要

公共工事

品外
構工
目事

大規模
工事

施ス
ボイ
設ツ

景観
舗装

集客
施設

メン
テナ
ンス

まえだ
TEQ
・
まえだ
パーク

環境
への
組み
込み

新技
術製
品

前田
道路
ネット
ワーク

14

QRコードを読み取ると「まえだTEQ・まえだパーク」のより詳しい内容をご覧くださいませ▶



環境理念

環境問題を企業の社会的責務の中の重要な課題と認識し、「人と環境にやさしい道づくり」のスローガンのもと、環境への負荷を軽減し持続的発展が可能な社会を形成することに貢献すべく、環境への配慮を組み入れた事業を展開する。

主な環境目標と実績

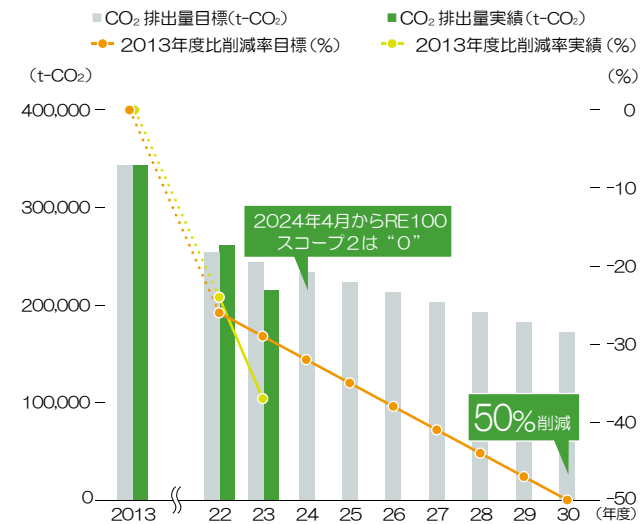
◎：達成した（目標値が90%以上） ○：達成した（目標値80～90%未満）
△：達成していないが、一定の成果を残すことができた（目標値70～80%未満） ×：達成できておらず改善に向けた具体的な検討が必要（目標値70%未満）

カテゴリー	実施内容	2023年度目標	2023年度実績	評価	2024年度目標	2030年度目標	
気候変動への取組み	CO ₂ 排出量の削減	3.0%削減 (前年度比)	17.7%削減 (前年度比)	◎	3.0%削減 (前年度比)	50%削減 (2013年度比)	
資源循環型社会の構築	オフィス（本店）からの再資源化	95%	78%	○	95%	95%	
	廃棄物の分別による再資源化	98%	97.7%	◎	98%	98%	
事業における環境負荷低減	排ガス、排水管理の徹底	0件	0件	◎	0件	0件	
環境配慮・持続型技術の開発	顧客のCO ₂ 排出量への削減	低炭素合材出荷数量	200,000t	792,236t	◎	2,000件	4,000件

※2023年度は「低炭素合材出荷数量」、2024年度は「アクションレポートの件数」

エネルギー使用量削減の取組み

CO₂ 排出量実績および中間目標



削減対策

- ・全拠点でRE100に対応したCO₂フリー電力の導入（2024年4月）
 - ・重油代替え燃料として、関係会社の日本バイオフェューエルが製造するバイオ重油の社内利用
 - ・合材出荷数量にあわせた効率の良い運転方法の確立
 - ・化石燃料に変わるバイオマス燃料の使用
 - ・高効率バーナの利用
 - ・インバータ制御による電気量削減機器の使用、等
- ※各拠点の出荷量や電力の使用量に合わせた対策を行っております。

Lineup

表層・基層

—温室効果ガスの排出削減に寄与するアスファルト舗装—

低炭素舗装

—施工性改善型アスファルト混合物—

ecole (エコール)

—廃PETリサイクルに貢献する高耐久型アスファルト舗装—

REAP (リープ)

—塑性変形抵抗性に優れた高耐久アスファルト混合物—

ベアミックス

路盤

—中央混合方式再生セメント・アスファルト乳剤安定処理路盤—

マイルドベース

—全天候型高耐久常温アスファルト混合物—

マイルドパッチ

—一段差修正材—

スマートパッチ

—2 in 1 クラック注入材—

スーパーMDシール

—グースアスファルト舗装の常温施工型簡易補修材—

マイルドグース

補修材

凍結対策

—凍結抑制効果を有する表面処理工法—

フリーズオフコート

排水対策

—雨水流出抑制施設—

雨水地下貯留システム

—単層式油水分離ます—

ヒュームセプター

植栽基盤

—耐圧植栽基盤システム—

MDグリーンインフラ工法

温室効果ガスの排出削減に寄与するアスファルト舗装

低炭素舗装 (低炭素合材 + 低炭素路盤)

低炭素技術によって製造する低炭素合材と CO₂ フリー電力によって製造する低炭素路盤材を使用した、環境に優しいアスファルト舗装です。

概要

低炭素合材とは、低炭素技術によって製造するアスファルト合材の総称です。中温化合物 (ecole)・実質 CO₂ フリー電力の活用など、CO₂ 排出量を低減した手法で合材を製造します。
低炭素路盤材とは、実質 CO₂ フリー電力によって製造された路盤材です。(全拠点対応)



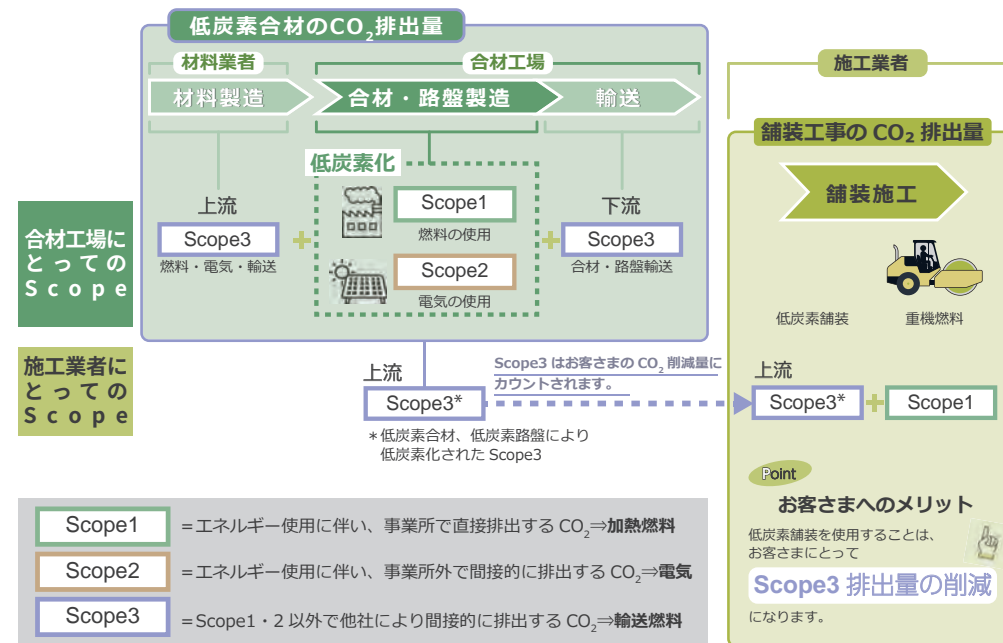
特長

- ▶ 全品種対応
再生密粒をはじめとして、透水性、改質、カラーなど、工場で製造する全ての品種を低炭素合材として販売できます。
- ▶ 通常施工で OK
通常のアスファルト合材、路盤材と同じ方法で運搬・施工でき、見た目の仕上がりも耐久性も通常合材、路盤材と変わりません。
- ▶ CO₂ 削減の PR 実施
CO₂ 削減量を可視化し、CO₂ 削減証書 (アクションレポート) としてお渡しします。(図 1)
アクションレポートの活用で、環境貢献活動を積極的に PR できます。
また、工事成績評価の加点にもつながります。
- ▶ 優位性の構築
他社よりも早く取り組むことで「脱炭素経営が進んでいる企業」や「先進的な企業」という良いイメージが獲得できます。
また、自社の社会貢献は社員のモチベーションにもつながります。



- 図 1. アクションレポート見本 -

アスファルト舗装の CO₂ 排出量の考え方 (スコープ1・2・3)



お客様の Scope 3 排出量の削減の見える化



施工性改善型アスファルト混合物

ecole (エコール)

マイクロバブルテクノロジーを利用した環境性と作業性に優れたフォームアスファルト混合物です。出荷温度を低減させる「ecole-L」と作業可能温度域が幅広い「ecole-N」があります。

概要

フォームアスファルトは高温時のアスファルトに少量の水を噴霧混合することで、水が急激に気化してアスファルトが発泡したものです。「ecole」は当社独自の技術により泡を微細泡（マイクロバブル）化していき性能を向上させています。また、再生用添加剤も同時に発泡（Wフォームド）させることにより、高再生率の再生アスファルト混合物にも適用可能です。



-ecole に使用するフォームドアスファルトの発泡状況-

特長

「ecole」は製造する温度によって以下の2種類があります。

作業環境・地球環境の改善 [ecole -L] (図-1 参照)

- ▶ 製造温度と締固め開始温度を最大で約30℃下げることができます。
- ▶ 施工温度が低いため、交通開放までの時間が短縮できます。また、夏季の施工中の熱中症予防としても効果的です。
- ▶ 製造温度を下げることで、製造時のCO₂排出量を削減できます。また、アスファルトの劣化も抑制され、品質が向上します。

施工性の改善 [ecole -N] (図-2 参照)

- ▶ 通常のアスファルト混合物と同じ温度で製造した場合、締固め可能な温度領域を広げることができます。
- ▶ 施工時の温度領域が広いので、品質の均一性が向上します。
- ▶ 運搬可能時間が長くなるため、輸送距離を伸ばすことができます。

NETIS 登録番号:KT-130096-A (2019年10月NETIS掲載終了)
 東京都新技術:1201013 / 横浜市新技術:H24年度登録
 静岡県新技術:1709 / 茨城県新技術:C-17028

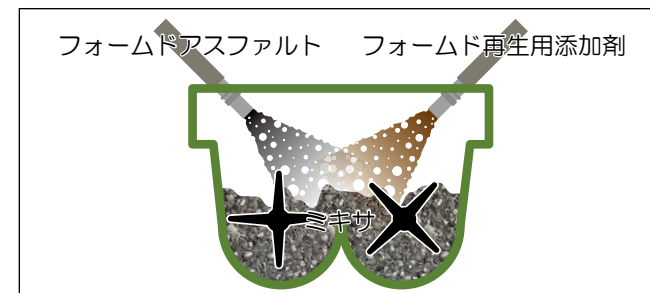
適用場所

一般的なアスファルト舗装工事に使用可能であり、特に以下のような工事で効果を発

- ▶ 再生アスファルト混合物を使用した舗装工事
- ▶ 早期交通開放を要する修繕工事
- ▶ 厚層施工を伴うアスファルト舗装工事
- ▶ 薄層施工、冬期施工、高架道路舗装、橋面道路舗装等、急激な混合物の温度低下が懸念されるアスファルト舗装工事
- ▶ 工場から現場まで長時間運搬となるアスファルト舗装工事

種別	噴射直後	数分後	敷きならし時
従来型 フォームド			骨材
ecole フォームド アスファルト			

-フォームドアスファルトの概念図-

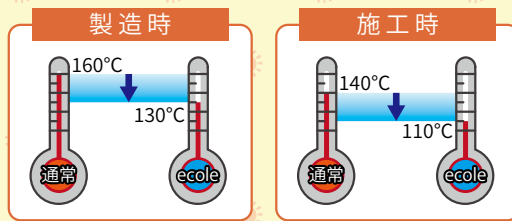


-Wフォームドの概念図-

ecole -L (出荷温度低減型)

製造温度と締固め開始温度を約 30℃下げます。

マイクロバブルで
30℃減

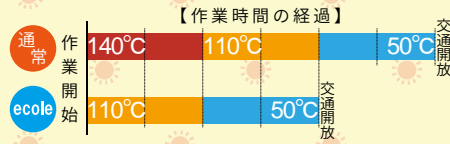


効果



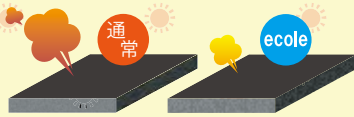
早期交通開放

施工温度が低いため、交通開放までの時間が短縮できます。



作業環境

施工温度が低いため、夏季の熱中症予防としても効果的です。アスファルトフュームも出にくく、身体にやさしい合材です。



※アスファルトフュームとは、アスファルト合材から発生する煙状ガスです。



品質向上

製造温度が低いため、アスファルトの劣化が抑制されます。



地球環境

アスファルト混合物製造時の CO₂ 排出量を削減できます。

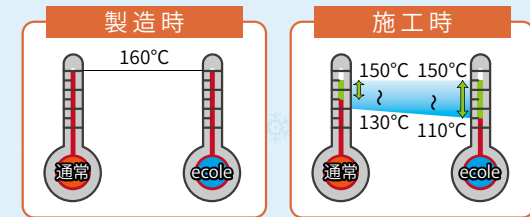
CO₂ 20% 削減

- 図 -1 低い温度で製造した場合 -

ecole -N (作業温度域拡大型)

製造温度は同じでも、締固め可能温度域を広げることができます。冷めても施工可能な使いやすいアスファルト混合物です。

マイクロバブルで作業温度域が広がります



効果



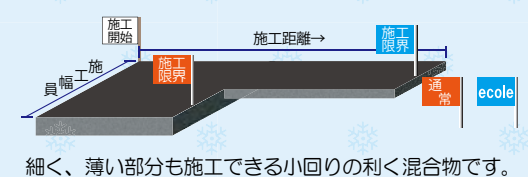
品質向上

温度低下による締固め不足が発生しにくくなるため、施工不良が起きにくくなります。



作業性改善

低い温度でも施工が可能のため、冷めても使いやすく施工性が向上します。



- 図 -2 通常と同じ温度で製造した場合 -

廃PET リサイクルに貢献する高耐久型アスファルト舗装

REAP (リープ)

原料に廃PET リサイクル資材を使用している環境に優しいアスファルト舗装です。

概要

廃PETボトルを原料としたアスファルト改質材(Kao:ニュートラック5500)を使用した、地球環境に配慮しつつ耐久性を向上させることを実現したアスファルト舗装です。また、REAPは前田道路独自の低炭素化手法によって製造されるため、CO₂排出量削減にも貢献します。前田道路のREAPは廃PETボトルリサイクルだけでなく、CO₂排出削減にも貢献する環境にやさしいアスファルト舗装です。

特長

- ▶ **環境性**
1000m²あたり、廃PETボトル約12,000本のリサイクルと杉の木40本以上のCO₂排出量の削減に貢献します。
※杉の木のCO₂吸収量を14kgで算出。
環境貢献量を見える化するアクションレポートの発行が可能です。
- ▶ **耐久性**
通常の改質アスファルト舗装よりも、耐流動性、据え切り耐候性、耐油性に優れたアスファルト舗装です。(図-1)
耐久性の観点からアスファルト舗装の2層敷設(表・基層)を標準としています。(図-3)
- ▶ **施工性**
通常のアスファルト舗装と同様の施工が可能です。
- ▶ **耐候性**
通常の改質アスファルト舗装より退色が抑えられます。(写真-1)



REAP 通常改質As
-写真-1-
REAPと通常改質Asの経年比較写真-

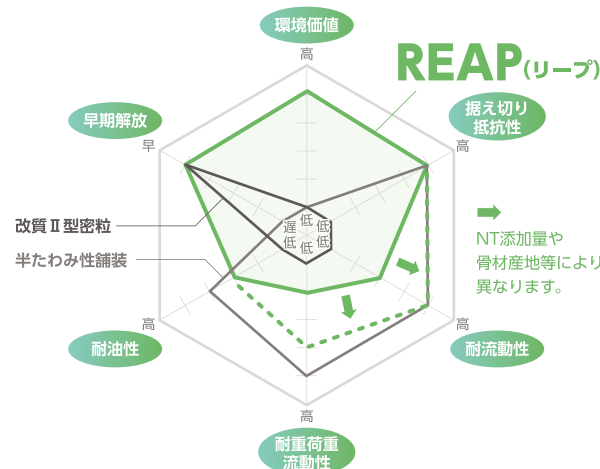
適用場所

- ▶ 歩車道
- ▶ 駐車場
- ▶ 重交通幹線道路
- ▶ 環境配慮工事
- ▶ バス停及びロータリー

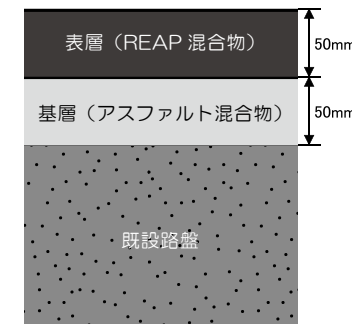
Kao × 前田道路



-REAPの製造工程イメージ図-



-図-1: 混合物の性状比較図-



耐久性向上の観点からアスファルト舗装の2層敷設(表・基層)を標準としています。

-REAPの標準断面図-

塑性変形抵抗性に優れた高耐久アスファルト混合物

ヘアミックス

ポリマー改質アスファルトにプラントミックスタイプの特種改質材を添加した高耐久アスファルト混合物です。

概要

わだち掘れやねじりに対する抵抗性が高く、半たわみ性舗装と同程度の高い耐久性を有しています。

特長

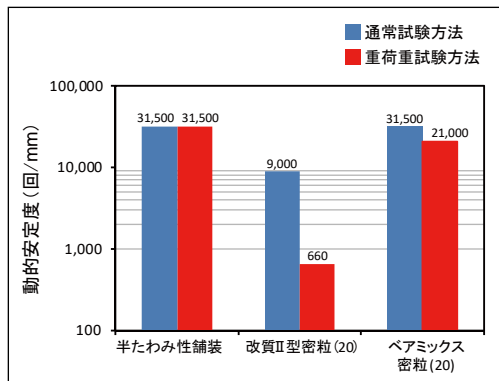
- ▶ **耐久性**
半たわみ性舗装と同程度の塑性変形抵抗性や骨材飛散抵抗性、耐油性があります。
- ▶ **たわみ性**
ポリマー改質アスファルトⅡ型混合物と同程度のたわみ性があり、強靱性と適なたわみ性を併せ持つ混合物です。
- ▶ **特別な機械が不要**
通常のアスファルト舗装と同様の機械編成で施工が可能です。
- ▶ **施工後の即日交通開放が可能**
加熱アスファルト混合物のため施工後には即日交通開放が可能です。

適用場所

ヘアミックスは主に表層混合物として使用します。

- ▶ 重交通幹線道路
- ▶ バス停及びロータリー
- ▶ パーキングエリア
- ▶ コンテナヤード

■ 塑性変形抵抗性



ホイールトラッキング試験結果

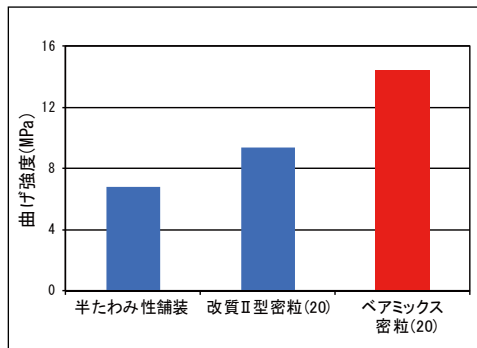
ホイールトラッキング試験条件

試験条件	通常試験方法	重荷重試験方法
温度(°C)	60	60*
走行速度(回/分)	42	21
試験時間(分)	60	120
試験輪荷重(N)	686	1,177

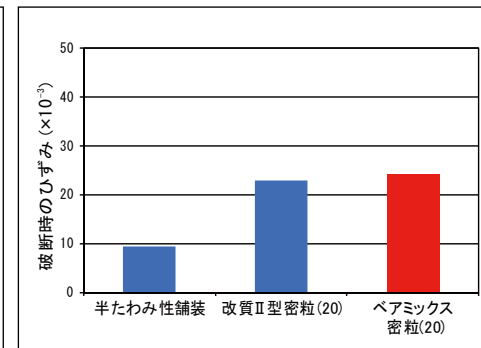
*当社独自試験方法

■ たわみ性

ヘアミックスは強靱性だけでなく、適なたわみ性も有していることがわかります。



曲げ強度 (-10°C)



破断時のひずみ (-10°C)

※試験は半たわみ性舗装混合物の曲げ試験方法に準拠

■ 通常舗装および半たわみ性舗装との比較

	半たわみ性舗装 (ヘアコート)	通常舗装 改質アスファルト混合物	ヘアミックス
耐久性	★★★★★	★★	★★★★★
施工日数	★★ (舗装+セメントミルク注入)	★★★★	★★★★
施工費	★★	★★★★	★★

全天候型高耐久常温アスファルト混合物

マイルドパッチ

水をかけて締め固める袋詰め常温アスファルト混合物です。
耐久性を追求した雨天施工可能な補修材です。

概要

前田道路独自の技術により開発した、全天候型および高耐久型の常温アスファルト混合物です。植物由来の原料を使用しているため、人と環境に優しい製品です。

特長

- ▶ 化学反応タイプの常温アスファルト混合物です。
- ▶ 従来の常温アスファルト混合物（揮発硬化タイプ）と比べて耐久性が非常に高く、速く固まります。
- ▶ 雨天時および水たまり箇所での施工にも適用できます。
- ▶ 1袋 20kg 入りで販売しています。
- ▶ 1㎡施工するのに必要な量は、施工厚さ 4cm の場合、5袋程度です。
- ▶ 製造日から6ヶ月程度の保存が可能です。

適用場所

- ▶ 軽交通～重交通、超重交通道路の補修
- ▶ 水たまりやぬかるみが発生している路面のポットホールの緊急補修
- ▶ 自動車専用道路等の初期強度や耐久性が要求される舗装の補修
- ▷ 災害時の緊急補修

備考

QRコードを読み取ると施工手順動画をご覧いただけます▶



- 荷姿（イメージ） -



- 施工状況（散水） -



施工前

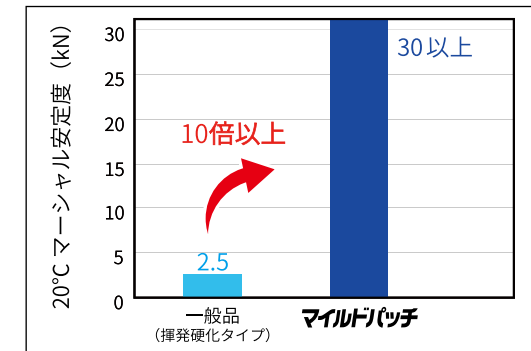


施工直後

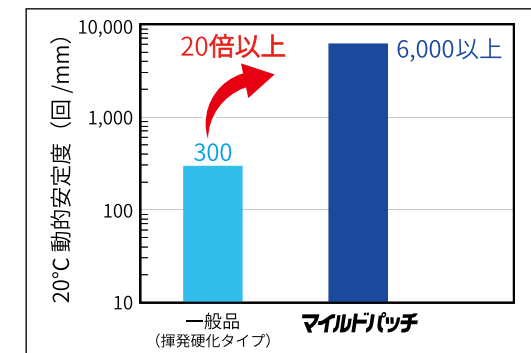


施工2か月後

- 施工事例（ポットホールの補修） -



- 常温マーシャル試験 -



- 常温ホイールトラッキング試験 -

段差修正材

スマートパッチ

コテのみで手軽に施工可能な耐久性の高い段差修正材です。

概要

速硬型ポリマーセメント系の道路補修材であり、特殊な道具を使用することなく、手軽に施工することができます。耐久性が高く、既設舗装と接着性が良好な材料であるため、道路の段差修正およびあれた路面のリフレッシュ等に適しています。

特長

- ▶ 高い耐久性を有し、既設舗装との付着性も良好であるため、車両の通行に十分に耐えることができます。
- ▶ 従来の樹脂系の道路補修材に比べ、不快な臭いが少ないです。
- ▶ ブラックとナチュラル（セメント色）の2色があります。
- ▶ 施工時期、可使時間、交通開放時間の目安により、「普通タイプ」・「速硬タイプ」2種類から選べます。
- ▶ 1セットは粉体 4kg+ 樹脂 0.8kg=4.8kg（2.4ℓ）と少量であるため、材料の無駄がありません。
- ▶ 粉体と樹脂の混合には、特殊な道具を必要とせず、手もみで簡単に行えます。混合物は柔らかいので、コテのみで簡単に均すことができます。アスファルト舗装、コンクリート舗装のいずれにも適用出来ます。
- ▶ 1つの袋に樹脂と粉体が分割包装されているので、開封せずにワンタッチで簡単に樹脂を粉体に投入でき、確実に適正な配合で混合できます。
- ▶ 1セットの施工面積は以下の通りです。※施工時のロスとは別途考慮してください。

施工厚	施工面積
10mm	約 0.24㎡

種類	普通タイプ		速硬タイプ	
	春・秋期	夏期	春・秋期	冬期
施工時期	春・秋期	夏期	春・秋期	冬期
可使時間	10分	5分	5分	15分
交通開放時間の目安	約 60分	約 30分	約 40分	約 60分

※可使時間と交通開放時間を確認の上、タイプを選定してください。
 ※気温が高い夏期に速硬タイプを使用すると可使時間を確保できないため、使用しないでください。

適用場所

- ▶ 舗装の施工ジョイント、橋りょうの伸縮継手部、マンホール周り等の段差修正
- ▶ 荒れた路面のリフレッシュ
- ▶ アスファルト混合物ですり付けた部分の飛散防止
- ▶ 段差の補修が必要な場所
- ▶ 道路包括管理事業

備考

- ▶ 雨天時の施工は、剥がれの原因になりますので避けてください。
- ▶ 開封後は、可使時間内に使い切ってください。
- ▶ 既設舗装にゴミ等が残っていると剥がれの原因になりますので、清掃は確実に行って下さい。
- ▶ 製品の安全上の取り扱いについては、安全データシート（SDS）に従ってください。
- ▶ 使用期限は6か月以内です。

QRコードを読み取ると施工手順動画をご覧いただけます▶



ブラック▲



▲施工事例：ブラック
ジョイント部やマンホール周りの段差修正



▲施工事例：ブラック
バリアフリーの段差修正



ナチュラル▲



▲施工事例：ブラック
すり付け合材の飛散防止



▲施工事例：ナチュラル（セメント色）
荒れた路面のリフレッシュ

- 施工事例 -

NETIS 登録番号:HR-120005-A (2018年10月NETIS掲載終了)
 / 東京都新技術:1201011

2 in 1 クラック注入材

スーパーMDシール

常温で簡単に施工可能で、硬化後は長期にわたり高い防水性を有するクラック補修材です。

概要

2in1 パッケージにより常温で簡単に施工可能で、長期にわたり高い防水性を有するポリウレタン系ひび割れ補修材です。

1セットは600gです。色はブラックとグレーの2色で、使い分けることが可能です。

特長

- ▶ 浸透性が良いため、微細なひび割れや深部まで容易に浸透します。
- ▶ 既設舗装体の破損部やひび割れ部との接着性に優れています。
- ▶ 硬化物は弾力・靱性に優れています。
- ▶ 火器を使用せず安全に常温施工できます。通常 30分、冬季は 60分程度で硬化するため、施工後の早期交通開放ができます。
- ▶ パッケージが単一素材（モノマテリアル）です。

適用場所

- ▶ アスファルト舗装やコンクリート舗装のひび割れ補修
- ▶ 舗装ジョイント部の隙間
- ▶ コンクリート舗装の目地補修

備考

- ▶ 使用期限は 12 ヶ月以内としてください。
- ▶ 使用前に必ず A 剤を揉み解してください。
- ▶ 直射日光と凍結を避け、5℃～35℃の室内で保管してください。
- ▶ 気温 5℃以下で施工する場合、硬化時間が長く（0℃では 3 時間以上）なります。
- ▶ クラック内に水が溜まっている箇所には使用しないでください。
- ▶ クラック内のゴミ、ホコリを取り除いてから使用してください。
- ▶ 製品の安全上の取り扱いについては、SDS に従ってください。



—ブラック—



—グレー—



—10箱セット入り（5セット×2段）—



—クラック補修—



—コンクリート舗装の目地補修—

標準施工量（1セットあたりの施工延長）

幅(mm) \ 深さ(mm)	3	5	10	20
25	5.0m	3.0m	1.5m	0.6m
50	2.0m	1.5m	0.6m	0.4m
75	1.5m	1.0m	0.4m	0.3m
100	1.0m	0.6m	0.3m	0.2m

※ 本製品は、浸透性に優れているため一般的な注入材より多く必要な場合があります。

QRコードを読み取ると施工手順動画をご覧いただけます▶



グースアスファルト舗装の常温施工型簡易補修材

マイルドグース

常温で流し込み施工が可能なスラリー状のアスファルト混合物を、単粒度の粗骨材の隙間に充填する補修材です。

■ 概要

床版防水層であるグースアスファルト舗装の小規模補修時に最適な『常温施工型グースアスファルト舗装補修材』です。化学反応硬化型の材料であり、バインダを単粒度骨材の隙間に流し込むと、バインダと骨材が一体となって硬化し、遮水性に優れた防水層を形成します。施工が容易で小規模から行えるため、グースアスファルト舗装の部分的な補修に適しています。

■ 特長

- ▶ 無駄が少ない
ロスが少なく経済的で、廃棄が少ないため環境に優しい製品です。
- ▶ 施工が容易
簡易な機材で容易に施工が可能です。
- ▶ 高性能で扱いやすい
防水層に求められる性能規格を満足する常温施工のため床版に負担がかかりません。

■ 適用場所

- ▶ グースアスファルト舗装（鋼床版およびコンクリート床版）のポットホールの補修

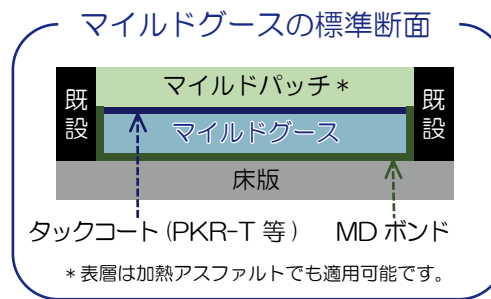


マイルドグース 1 セット内容

- ① マイルドグース バインダ部
- ② マイルドグース 粉体部
- ③ 水
- ④ MD ボンド（主剤）
- ⑤ MD ボンド（副剤）
- ⑥ 骨材（母体用）

1 セット当たりの
標準施工量は 0.5m² です。

—1セット内容と標準施工量—



—標準断面図—

<p>① MD ボンドの塗布</p>	<p>② 母体骨材の敷設</p>	<p>③ マイルドグースの混合</p>
<p>④ 流し込み</p>	<p>⑤ コテ仕上げ</p>	<p>⑥ 完成</p>

—施工手順—

中央混合方式再生セメント・アスファルト乳剤安定処理路盤

マイルドベース

たわみ性と剛性を併せ持つ耐久性に優れたセメント・アスファルト乳剤安定処理路盤材です。

概要

セメントコンクリート発生材、アスファルトコンクリート発生材等から製造された再生骨材にセメント、アスファルト乳剤を加えて製造した安定処理路盤です。
 中央混合方式で製造するため、路盤材の品質が安定しています。

特長

- ▶ 製造時の混合効率がよく、高品質な混合物の安定供給が可能です。
- ▶ セメントによる「剛性」と、乳剤による「たわみ性」を有しているため耐久性に優れています。
- ▶ 通常の路盤よりも施工厚さを薄くできるため、コスト縮減ならびに工期短縮が可能です。
- ▶ 建設発生材を有効利用します。
- ▶ 他産業再生資材の使用が可能です。
- ▶ 液状化および凍上による舗装の被害を軽減することが期待できます。
- ▶ 道路交通振動の低減に有効です。

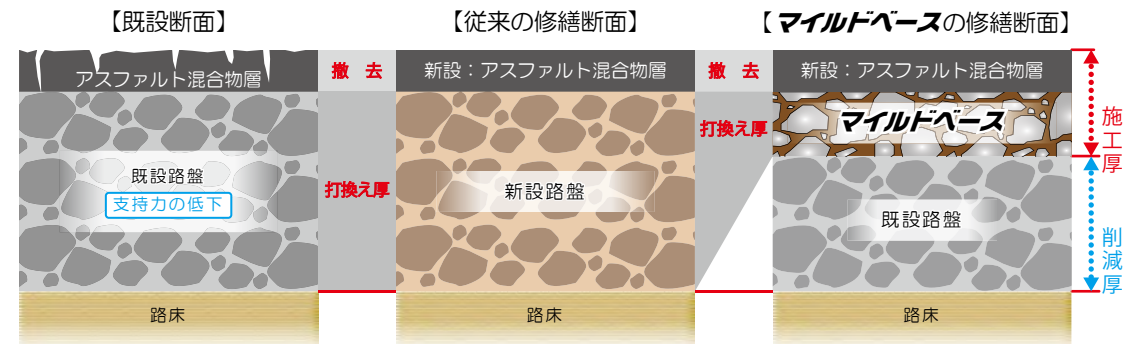
※マイルドベースの等値換算係数は0.65です。

適用場所

- ▶ 打換え時の路盤工
- ▶ 設計時よりも交通量が増えた路線
- ▷ 簡易舗装（仮設道路等）
- ▷ 工場構内
- ▷ 大型車駐車場



—製造状況—



—修繕断面例—

凍結抑制効果を有する表面処理工法

フリーズオフコート

凍結防止剤の散布無しでも効果を発揮する、局所的な凍結抑制対策です。

■ 概要

既設・新設問わず、表層の直上に凍結抑制材とモルタルから成る層を構築する凍結抑制効果を有する表面処理工法です。塩化カルシウム等の凍結防止剤を散布しなくても、モルタル層より染み出る非塩化物系凍結抑制材と車両の通行により、凍結抑制効果を発揮します。アスファルト舗装とコンクリート舗装の両方に適用することが可能で、2シーズンにわたって凍結抑制効果が持続します。

2シーズン目以降は、重ねて表面処理を行うことで、長期的な効果を維持する事ができます。

■ 特長

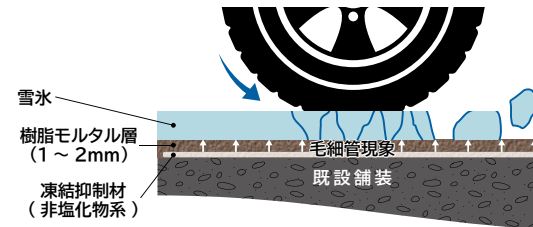
- ▶ 凍結防止剤散布無しでも効果発揮するため、初雪や仲春など予期せぬ降雪予報の際、凍結防止剤の事前散布判断に迷う必要がありません。
- ▶ 危険箇所に対して局所的な凍結抑制対策をすることで、効率的に事故リスクを低減することができます。
- ▶ 既設舗装の撤去や打ち換えが必要ないため、従来工法と比べて最も低コストで施工できます。
- ▶ 金属腐食を引き起こさない非塩化物系の材料を使用しているため、ガードレールや標識への塩害発生を抑えることができます。

■ 適用場所

- ▶ カーブ、下り坂、交差点近くなど、車両の減速や停止が要求される車道
- ▶ トンネルの出入口付近、消融雪施設の背後部など、路面状況の変化が著しい箇所
- ▶ 橋りょう部、建物や高架などにより日陰となるように特に凍結しやすい箇所
- ▶ 道路包括管理事業
- ▶ 路面の凍結抑制



— 施工事例 —



モルタル表面に凍結抑制材がしみでることで、氷点降下作用により氷着が抑制されます。タイヤ走行の衝撃により、圧着や氷膜が除去されやすくなります。気温が5 ~ 0℃の時に最も凍結抑制効果が表れやすくなっています。

— 氷をはがす仕組みイメージ —



未施工



施工済み

— 凍結抑制効果 —

雨水流出抑制施設

雨水地下貯留システム

雨水を一時的に地下貯留する工法で、近年のゲリラ豪雨による冠水対策にも有効です。

概要

駐車場等の地下に、樹脂製成型ユニットを組立て埋設する、高機能な貯留システムです。用途に沿って、降雨時に一時的に貯留させ徐々に放流させる【貯留タイプ】と、一時貯留機能と浸透機能を併せ持つ【浸透タイプ】があり、いずれも雨水流出抑制施設として下水道への負担を軽減させます。

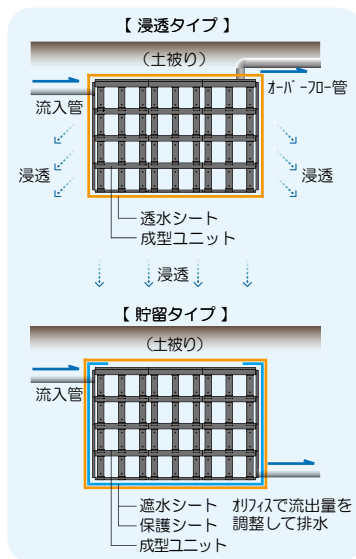
従来工法である浸透トレンチやコンクリート製貯留施設に比べ、施工性に優れ、工期が短縮され、コストが削減できます。

近年は行政指導による雨水流出抑制施設のほかに、事業者自らが冠水対策として設置する例も増えています。

特長

- ▶ 浸鉛直方向に対しては類似製品と比較してトップレベルの高い圧縮強度を誇り、適正土被りにより設置上面の大型車の通行も可能（T-25）です。
- ▶ 高い空隙率（約 95%）を実現することでコンパクトな貯留空間を確保できます。
- ▶ ユニット組立時にアングル枠で点検孔を設置することができ、鉛直・水平方向からの視認性に優れているため、堆積処理等の維持管理が容易です。
- ▶ 成型ユニットは良質ペレット（樹脂原料）のみを使用した高品質な製品です。
- ▶ 積載効率を向上させた新型ユニットを使用することで遠隔地への輸送コストを削減できます。
- ▶ 災害時の緊急用水や花壇等への灌水（特殊吸上シート使用）等、各利水用施設としても設置利用できます。
- ▶ シートタイプの選定により浸透タイプ、貯留タイプのいずれかの用途にて使用できます。

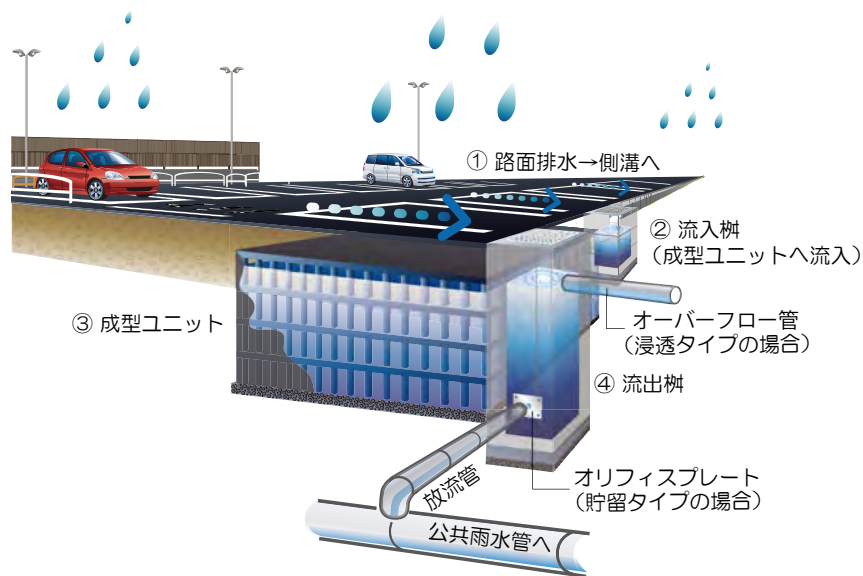
※ 適用用途によつて様々なタイプの製品をご提案致します。



—概念断面図—

適用場所

- ▶ 駐車場等の地下
（適正土被りによる荷重分散にて T-25 荷重対応）
- ▶ 緑地、グラウンド等の地下



—システム概念図—

ユニット：500×500×273.5



平板（フル）：500×500×20

平板（フル）：500×500×20



4段組み立てた状態
ジョイント：H駒



雨水地下貯留槽 組立て完成

—組立てイメージ（成型ユニット例）—

単層式油水分離ます

ヒュームセプター

油類および環境に有害な SS を分離・捕捉する高性能な環境対策型の油水分離システムです。

概要

路面排水に含まれる様々な汚濁物を、水と比重差で分離・貯留する製品です。事故が起こった際に流出するエンジンオイルや燃料(軽油、ガソリン)だけでなく、アスファルトや区画線、タイヤなどの削りカスや排気ガスの成分など車の通行に起因して発生したSS*を捕捉します。

※SSとは「Suspended Solids」の略で水中に浮遊または懸濁している直径2mm以下の重金属などの粒子状物質のことです。

特長

- ▶ 組み立式マンホールの内部に FRP 製のインバートデバイスを取り付けた構造ですので、現地の条件に応じて組み合わせることができ、また、施工も容易です。(T-25 対応)
- ▶ ヨコ型・複槽式と比べて、設置面積が小さくなるため、複槽式が設置できない場所も使用可能です。(図-1)
- ▶ 一定量までは、全量が貯留槽を通過し、激しい降雨などで一定量を超えた分が貯留量を通過しない一定流量処理方式の構造になっています。
- ▶ 貯留した汚濁物が再流出しない構造のため、集中豪雨や台風でも安心です。(図-2)

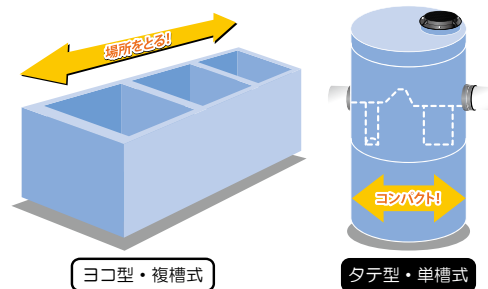
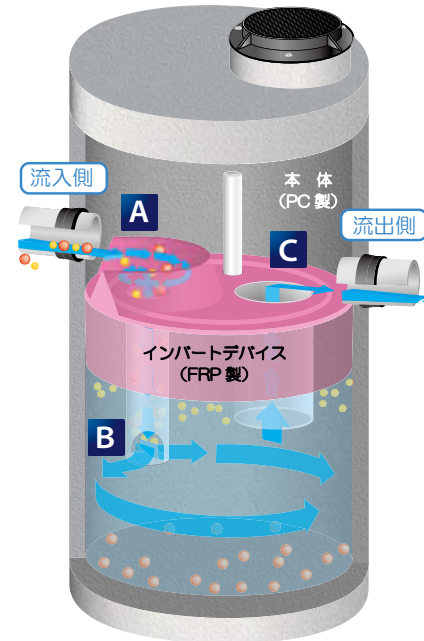


図-1 ヨコ型と縦型の設置面積イメージ

適用場所

- ▶ 工場・物流センター
- ▶ 建機ヤード
- ▷ 雨水排水の SS や油等の処理が必要な場所



システム概念図 (排水処理の仕組み)

- ① 流入してきた水は、A デバイス上部で渦を巻きながら B 貯留槽に引き込まれるので、油など浮遊している汚染物も速やかに貯留槽に取り込まれます。
- ② 貯留槽内では、流入した水が非常にゆっくりとした流れになるようデザインされており、最大処理流量時でも、平均速度が4～11mm程度になります。
→このゆっくりとした流れは、一般的な油水分離柵では分離できないような細粒化された油類やSSも分離し捕捉します。(SS ● は沈降し、油 ● は浮上する)
- ③ 貯留槽内で綺麗になった水は C パイプより排出されます。

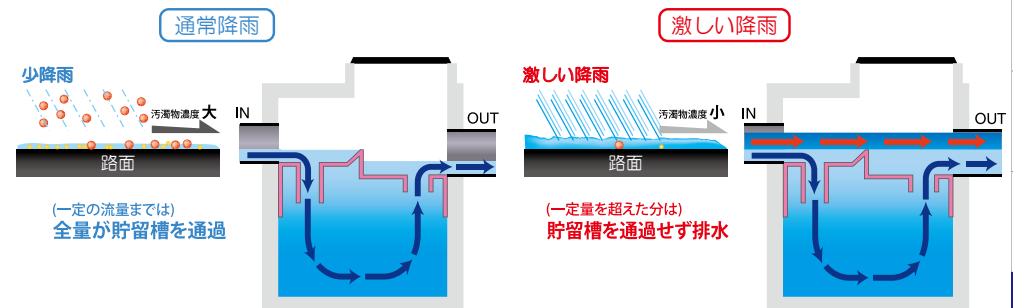


図-2 雨量による水の通過量

「ヒュームセプター」は株式会社イトーヨーギョーが国内の総代理店です。

耐圧植栽基盤システム

MD グリーンインフラ工法®

舗装の支持力を確保しながら、樹木根系の生育環境を保全・創出。根上がりによる舗装構造の破壊を抑制し「街路のみどり」と「舗装」の共存を図ります。

2022年 国土交通省 先駆的な緑化技術開発のための実証調査パートナーに採用された、樹脂製貯留構造体「アクアブラ®」を耐圧植栽基盤に適用したグリーンインフラ工法です。

概要

「街路のみどり」と「舗装」の共存を可能にした、樹脂製貯留構造体「アクアブラ®」を耐圧植栽基盤に適用したグリーンインフラ工法です。

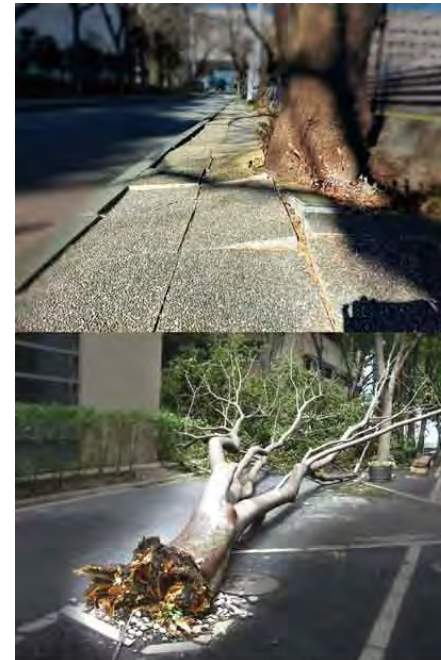
舗装の支持力を確保したまま舗装下部へ敷設可能である「アクアブラ®」の機能を活かし、良質な客土を「アクアブラ®」に充填、樹木の根系を誘導させ保護することで、舗装に囲まれた樹木の樹勢を維持・回復させることができます。

特長

- ▶ “根上がり”による舗装の不陸・破壊を抑制するとともに、樹木が健全に根を張り成長することで台風など強風時の倒伏対策にも有効です。
- ▶ 不随する効果として、緑化拡充（景観向上・炭素固定・火災延焼防止）、暑熱環境改善（緑陰効果・気化熱）、雨水流出抑制（樹幹流・土壌保水）といった、みどりが持つ機能を引き出すことができます。

適用場所

- ▶ 植栽空間に制約のある街路樹や舗装された広場の狭小な植樹
- ▶ 【公共空間】歩道、駅前ロータリー、広場、公園など
- ▶ 【限られた敷地内での緑化】緑化が必要な工場や倉庫、外構エントランスなど
- ▶ 【残したい樹木】団地、学校など（大径木の根が構内路の拡幅等で干渉するケース）



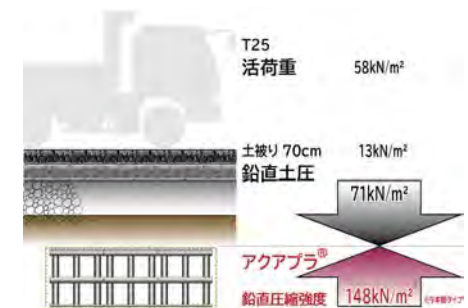
—街路樹の「根上がり」と「倒伏」—



—工法イメージ—



—構造イラスト—



—支持力—



前田道路株式会社

インフロニアグループの一員です